取扱説明書 保存用

気泡浴装置　バブラー

HB-1

（医療機器具許可番号：12BZ0191）

　このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
　正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。「取扱説明書」はいつでも使用できるように、見やすい場所に大切に保管してください。

04-036②H3

≪現場用≫

取扱説明書

気泡浴装置　バブラー

HB-1

（医療機器許可番号：12BZ0191）

　このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
　正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。「取扱説明書」はいつでも使用できるように、見やすい場所に大切に保管してください。

04-036②H3

安全上のご注意

本製品を安全に正しくご使用していただくために、
各注意事項を読んで必ずお守りください。

表示の意味は次のようになっています。

**⚠ 危険 ・・・ 取り扱いを誤ると、
死亡または重傷を負うことに至るもの**

**⚠ 警告 ・・・ 取り扱いを誤ると、
死亡または重傷を負う可能性が想定されるもの**

**⚠ 注意 ・・・ 取り扱いを誤ると、
傷害または物的損害の発生が想定されるもの**

下記の注意事項は、本文からの抜粋です。

⚠注意

1．感電や火災の原因になりますので、電源コードまたはプラグは加工しないでください。

2．漏電したときに感電する恐れがありますので、アースのないコンセントは使わないでください。

3．変形するとねじがはまらなくなりますので、ホース両端の金具は落としたり、ぶつけたりしないでください。

4．感電やショートして発火の恐れがありますので、電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らないでください。

5．ビニール製の上板が熱で変形しますので、浴槽に給湯してから気泡発生盤を沈めてください。

6．気泡発生盤の中に残った水が流れ出ますので、使用後に浴槽から引き上げる時は、送風機からホースをはずしてください。

目　次

１．用途及び特長

- **用途**

　本装置は、気泡発生盤（別売り）と組み合わせて水治療及び浴中マッサージを行うための気泡を発生させる装置です。

- **特長**

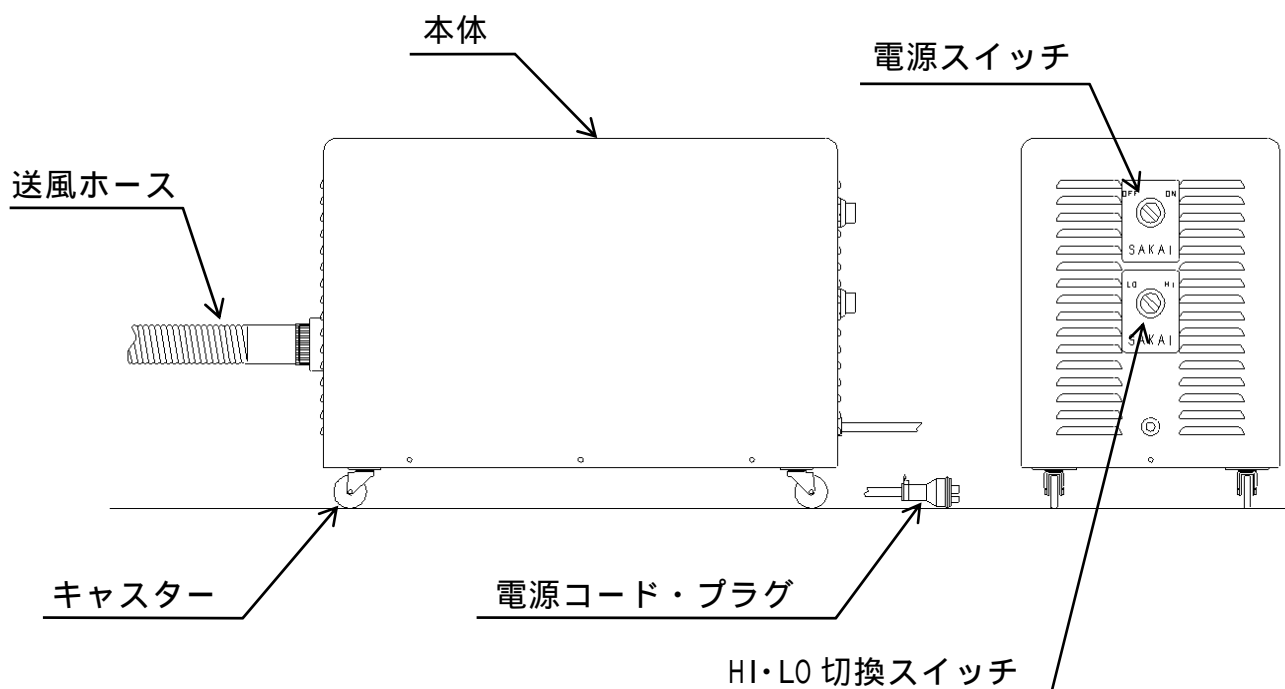
　送風機からの強い風をホースで気泡発生盤（別売り）に送り、多くの気泡を発生させます。浴中全身マッサージ効果が得られます。

２．構成

- 気泡浴装置バブラー　ＨＢ－１
  - 本体　･･･１台
  - 送風ホース　･･･１本

別売り

- 気泡発生盤(首長タイプ)　HBH-1AL　…1 台
- 気泡発生盤(一般浴槽用・首長タイプ)　HBH-1BL　…1 台
- 気泡発生盤(一般浴槽用)　HBH-1B　…1 台

３．各部の名称

４．ご使用になる前に

ご使用前に本製品について P.7 の**始業点検項目**にもとづき、始業点検を実施してください。またこれ以外でも部品が破損しているなど、日頃お使いになられていたときとは違う異常を感じましたら、本製品を使用せずに、電源を切って最寄りの営業所にご連絡ください。

破損、異常を感じたままのご使用は、危険ですから絶対におやめください。

４－１　電源について

電源コードのプラグはアース付になっています。必ず AC100V 15A アース付コンセントをお使いになり完全にアースしてください。

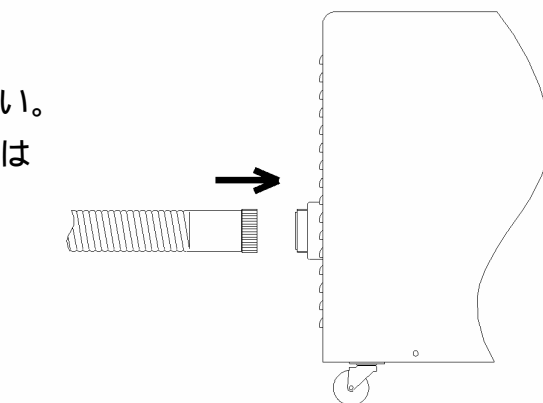
⚠注意	**電源コードまたはプラグは加工しない** 感電または火災の原因になります。
	アースのないコンセントは使わない 漏電のとき感電の恐れがあります。

４－２　水深と気泡との関係について

気泡の出具合は水深にほぼ反比例して変化します。水深が浅いときは気泡が多く深くなると気泡が少なくなりますが、送風機の運転効率は中間の深さのときが最もよくて、浅くなっても、深くなっても悪くなっていきます。浅いときは気泡が多くなりますが、送風機には大きな負荷がかかります。深いときは気泡が少なくなり負荷は減少しますが、送風機の回転数が増加しベアリングに悪影響を及ぼしますので、なるべく効率の良い使用範囲でお使いください。

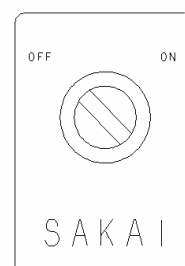
効率の良い深さの範囲　：30～60㎝
気泡が出なくなる深さ　：１m以上
（HI－LO 切替スイッチが「HI」のとき）

５．組立

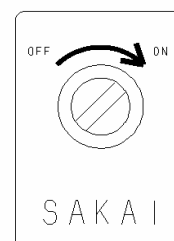
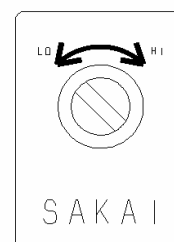
　本体と送風ホースを接続してください。
このとき、ホースがねじれないようには
めて、ネジ金具を締め付けてください。

⚠ 注意	**ホースの両端の金具は落としたりぶつけたりしない** 変形するとネジがはまらなくなることがあります。

６．操作方法

６－１　電源について

　電源スイッチが「OFF」になっていることを確認後、電
源コードのプラグをコンセントに差し込んでください。
　使用後は電源をOFFにし、プラグをつかんで電源プラ
グをコンセントから抜いておいてください。

⚠ 注意	**電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない** 電源コードが傷み、感電やショートして発火することがあります。

６－２　気泡の調節

　電源スイッチを「ON」にすると始動し、数秒後に気泡が
発生してきます。

　HI－LO 切替スイッチを「HI」にすると気泡が強くなり、
「LO」にすると弱くなります。

7．使用手順

1）送風機からの送風ホースを気泡発生盤（別売り）と接続する。
2）気泡発生盤（別売り）を浴槽に沈める。
3）電源コードをアース付きコンセントに接続する。
4）電源スイッチを「ON」にすると始動し気泡が発生する。
5）HI－LO 切替スイッチを「HI」または「LO」にする。
6）運転。（15 分以内）
7）電源スイッチを「OFF」にする。
8）電源プラグをコンセントから抜く。

8．その他の使用上の注意

⚠注意	**浴槽に給湯後、気泡発生盤を沈める** 気泡発生盤を先に入れて熱湯を給湯しますと、ビニール製の上板が熱で湾曲したり、反り返ったりすることがあります。
	使用後、気泡発生盤を浴槽から引き上げるときは、送風機からホースをはずして引き上げる 気泡発生盤の中に残っている水が送風器の方へ流れる恐れがあります。

9．お手入れの仕方

- 送風機は拭くだけにして、水を掛けたりしないでください。
- 気泡発生盤（別売り）の裏側は水垢で汚れ易いので、よく洗ってください。

10．このようなときには

症状	原因	対策
電源が入らない	電源スイッチが入っていない。 コンセントに入っていない。	電源スイッチを入れてください。 コンセントに入れてください。
HI･LO の切換ができない	電気系統のトラブル	最寄りの営業所にご連絡ください。

11．機器の保守・点検について

本製品については、機器の管理者の方が以下の点検項目にもとづき、必ず始業点検（日常の製品使用前）を実施してください。

また長期間使用しなかった製品を使用再開する場合は、機器が正常に動作するか十分な点検を行ってください。

点検時に異常が発見された場合は、製品の使用を中止して最寄りの弊社営業所までご連絡ください。（なお清掃等の簡単な保守は機器の管理者等によって実施するようお願いいたします）

始業点検項目

区分	点検内容	点検方法
(電源投入前) 外観	周囲の障害物の有無	目視
	カバーのガタつき、取付ネジの緩み、脱落	目視 及び、触って確認
	ホースの変形、キズ	目視
(電源投入後) 機能	電源の投入	気泡が発生するか確認
	気泡の作動	HI－LO スイッチを回して、気泡量が変化するかを確認

12．保証とアフターサービス

12－１ 保証書と保証期間

保証書はよく読んで大切に保管してください。保証書がありませんと保証期間中でも代金を請求させていただく場合があります。

保証期間につきましては、正常な状態でご使用いただきながら故障した場合、本体フレームは５年間、それ以外は１年間です。詳しくは保証書をご覧ください。

12－２ 修理を依頼される場合

- 修理を依頼されるときは下記のことをお知らせください。

  機種名　：　*HB-1*

  お買い上げ年月：　　年　　月

  故障状況（できるだけ詳細に）

  住所　氏名　電話番号

- メーカーより指示のあるとき以外は決してあけたり分解したりしないでください。

12－３ 定期保守点検契約のお勧め

製品を長期間正常な状態で安全に使用できるように保証期間後の「保守点検契約」の締結をお勧めします。詳しくは「保守点検契約のお勧め」をご覧になるか、弊社最寄りの営業所へお問い合わせください。

12－４ 損耗品

（使用により、磨耗･劣化･変質等が生じ、本来の機能が発揮できなくなるもの）

- 正常な使用において、交換の目安が**約２年**のもの。
  キャスター / 送風ホース

点検の時期が来ましたら弊社営業所までご用命ください。点検して必要により有償交換いたします。

13．仕様

気泡浴装置　バブラー　ＨＢ－１

外形寸法	630(L)×315(W)×520(H)mm
総質量	約 35 kg
材質	スチール(本体)
電源	AC100Ｖ
電源入力	１kVA
風量/全圧	1.8 ㎥/min　／　８kPa
連続運転	15 分定格
付属品	送風ホース（2.5m）

気泡発生盤（別売り）

HBH-1AL(首長タイプ)	1550(L)×500(W)×25(H)mm、接続管 140 mm
HBH-1BL (一般浴槽用・首長タイプ)	1050(L)×500(W)×25(H)mm、接続管 140 mm
HBH-1B(一般浴槽用)	1050(L)×500(W)×25(H)mm

注）都合により予告なく仕様の変更を行う場合があります。

14．医用電気機器の使用上(安全及び危険防止)の注意事項

●次の注意事項を熟読して、機器を正しく使ってください。

１. 機器を取り扱うには、その機器の取扱法，操作を十分に熟知してから、使用してください。

２. 機器の設置と保管する場所

１）水のかからない場所に設置，保管してください。
２）気圧，温度，湿度，風通し，日光に留意し、ほこり，塩分，イオウ分などを含んだ空気などにより悪影響の生ずる恐れのない場所に設置，保管してください。
３）傾斜，振動，衝撃(運搬時を含む)など安定状態に注意してください。
４）化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に設置，保管しないでください。
５）電源の電圧，周波数，消費電力に注意して設置してください。
６）電池電源の場合には、放電状態，極性などを確認してください。
７）機器を設置するときには、アースを正しく確実に接続してください。
８）コンピュータ等に代表される電子回路の機器は、高周波や電磁波などの電気的雑音によって誤作動が起きることがあり、電気的雑音は電源ラインからの混入が多いので、電源コンセントは高周波、電磁波等を発生する機器（マイクロウェーブ等）と同一のラインを使用しないでください。
９）電気的雑音は電波として空中から影響を受けることがあるので、高周波、電磁波等を発生する機器（マイクロウェーブ等）の近く及び静電気の発生し易い場所には設置、保管しないでください。

３. 機器を使用する前の準備

１）機器が正常で安定に作動することを確認してください。
２）アース線，コード類の接続が正確で、また完全であることを確認してください。
３）他の機器を併用する場合は、専門家の指示に従ってください。
４）患者に直接接続する外部回路が正常であることを確認してください。
５）電気的雑音は電波として空中から影響することがあるので、近くに高周波、電磁波等を発生する機器（マイクロウェーブ等）が無いことを確認してください。
６）電子回路の機器は静電気により誤作動が起こることがあり、又、身体には静電気が帯電しやすいので、近くの金属（机・ドアのノブ等）にふれて身体に静電気が帯電していない状態で操作してください。
７）電池電源を確認してください。

４. 機器の使用中の注意

１）診断，治療に必要な時間，量は指定以上にならないように注意してください。
２）機器及び患者に異常がないことを絶えず監視し、異常が発見された場合は、直ちに患者が安全であるように機器の作動を止めるなどの適切な措置を講じてください。
３）機器及び他の電気器具などに患者が触れることのないように、注意してください。

５. 機器の使用後の注意

１）定められた手順により操作スイッチ、ダイヤルなどを使用前の状態に戻したのち、電源スイッチを切ってください。
２）コード類を取りはずすときは、コードを持って引抜いたりしないで、正しくプラグを持って取りはずしてください。
３）機器は次回の使用に支障のないように、必ず清浄にしておいてください。

６. 故障したときは適切な指示をして、専門家にご連絡ください。

７. 機器及び部品は必ず点検を行ってください。

８. 機器は絶対に改造しないでください。